

第3回SUSPONシンポジウム

『持続可能な未来をつくるボランティアスタンダードとは』

2018年11月10日（土） 14:00～17:00

於：市民活動プラザ星園 大会議室

五輪がまちへ与える影響と これからの 社会づくり・まちづくり

植田 俊

（東海大学国際文化学部）

自己紹介

- 専門：スポーツ社会学

- これまでの取り組み（研究）

- 1) 移民の暮らす町のコミュニティ問題

例) 群馬県大泉町、埼玉県深谷市、愛知県豊田市

- 2) スポーツによるまちづくりの問題

例) 五輪と都市開発（長野、札幌）、スポーツとボランティア

本日お話させていただくこと

- 私のスポーツ・ボランティアの「経験」から
- ボランティアとまちづくりの類似性
- スポーツを支える、まちをつくること
- メガ・スポーツイベントが「まち」に与える影響
- これからのまちづくり

私のスポーツ・ボランティアの経験から



冬季アジア大会（2017年2月）

- おもてなしボランティアを経験
- 「企画・運営」し「実施」まで担当
→商店街ツアー、ステージイベント、
文化体験、アイスキャンドルづくり
- 「一般ボランティア」としても登録・活動



経験から得たこと

- 関わり方で「経験」に差が出た
→「代えのきかない」存在、「無償の単純労働」
- ボランティア＝する側とされる側が結ぶ「関係性」

A. ホワリン → @コ-ト- → リ-ア → ベスト電気 → アバ

B. ドラッグストア → 旧道バーガー → 休 → アパ

C. カキツバタ → 藻岩神社 → 松の木公園 → サワス → アパ

留学生 = 主役
 在日留学すること ⇒ 本邦へ行く
 外国人・本邦
 観光 ← 金・収入
 再招致 留学・留学
 交流・経験

对象

0.2.1.0-4 4.2.1.0-4

地域? 町内会 商店街

$2/16 - 27$ 229.

4 拿南

① P.A.

② ③ defi

④ あんざい

⑤ サットラ

⑥ エ藤 とけい

⑦ 川島 湯

⑧ マルセ"ルブ"

⑨ カキハバ

⑩ 藻岩神社

⑪ セブ"ル"グレ

⑫ ホウ"ル"

⑬ 道新"ル"カ、

⑭ サ"ル"

⑮ サ"ル" + / 17017

⑯ Q2-ル

⑰ カミ"ル"

①. 279 + 14X

①. 279 + 14X

①. 279 + 14X





大好評! ランチ11時〜

39-87

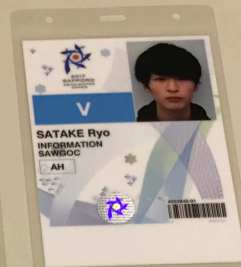
98-15







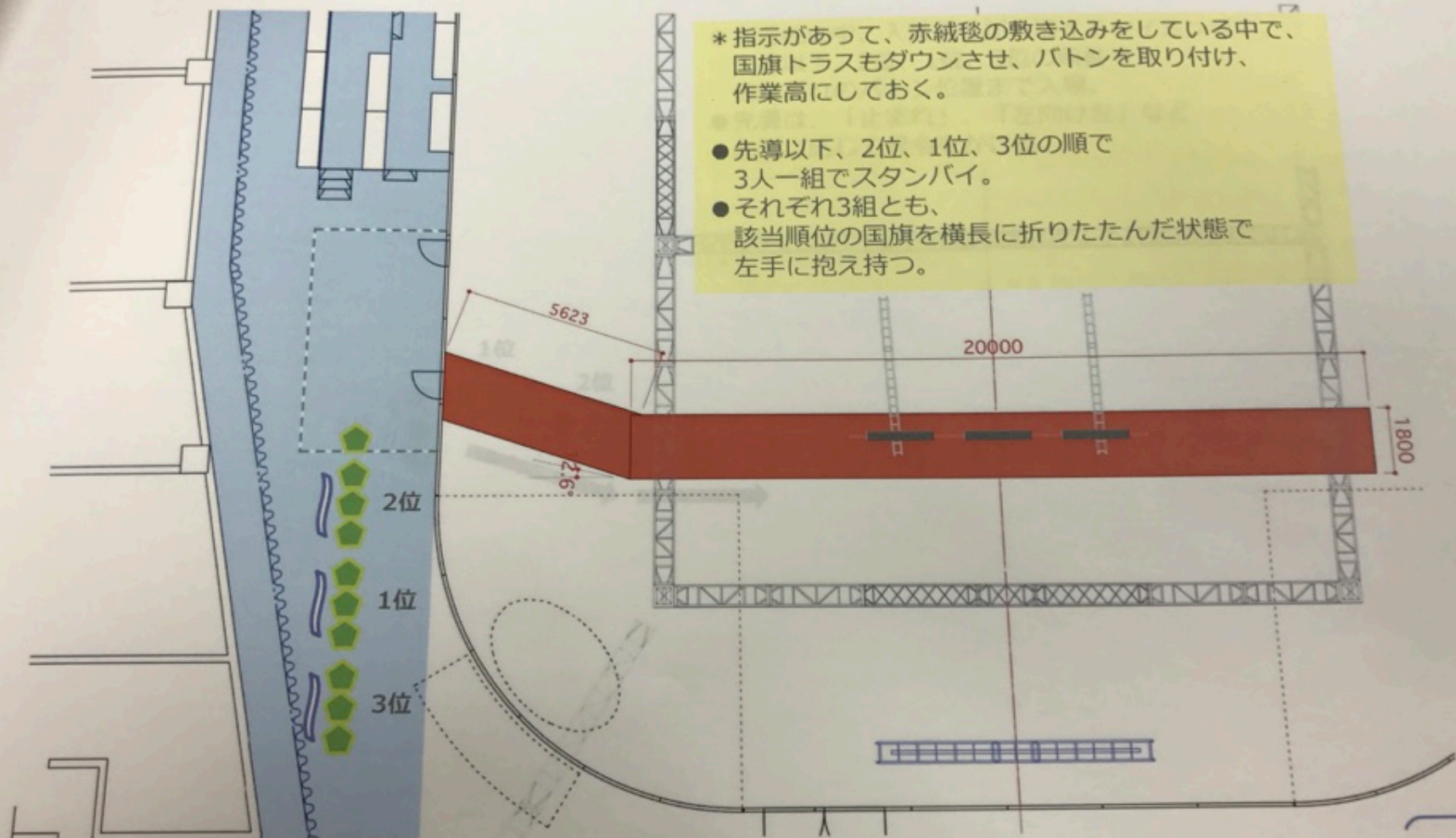




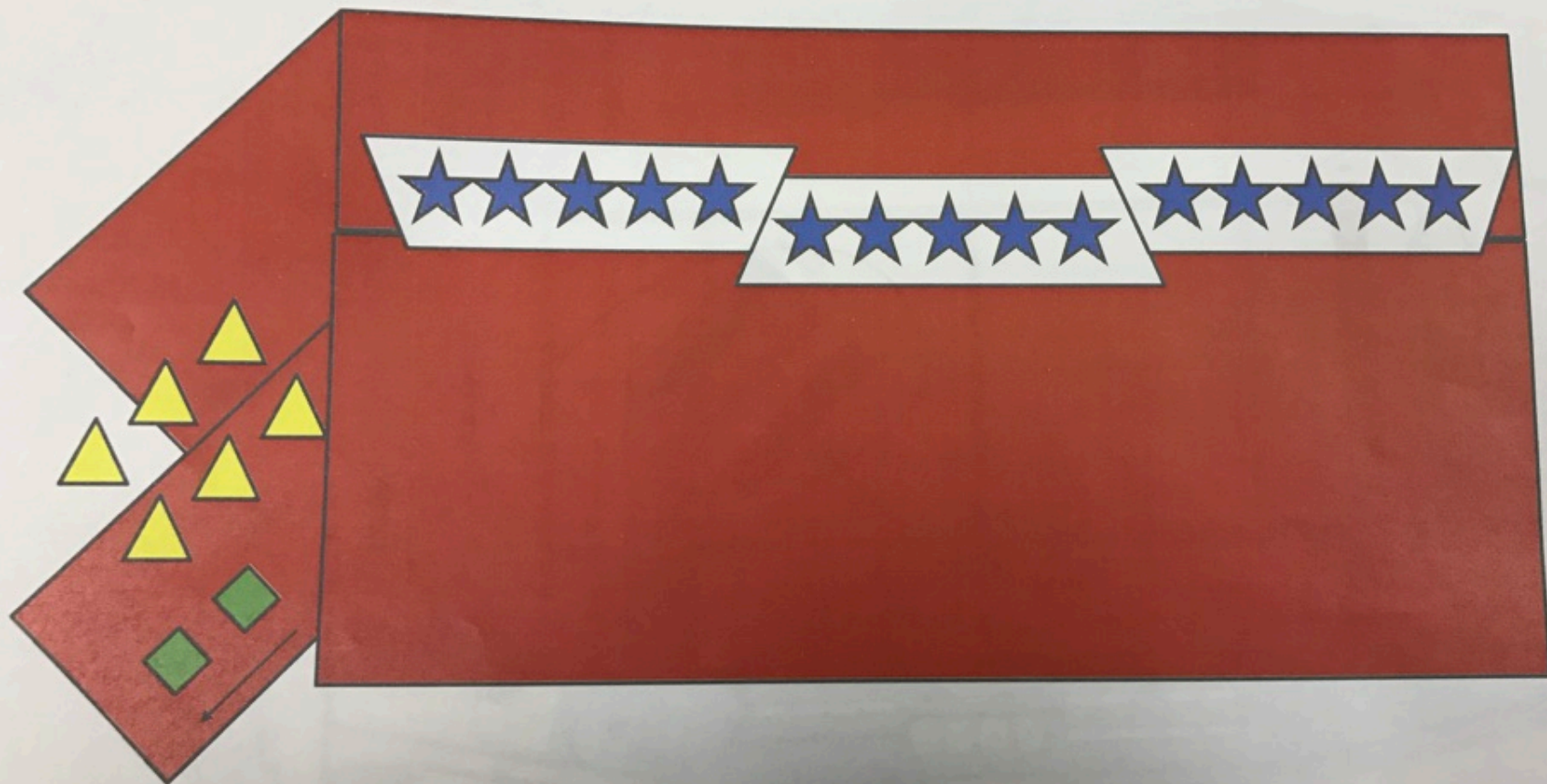




1. スタンバイ



8. フォトセッション2







南区体育館
150m



営業時間
10:00-20:00
20:00-22:00
10:00-20:00
www.mncc.jp
022



QATAR







Direng Hall
2nd Floor
Clinic
Physiotherapy
↑

Athletes' Service Center
選手サービスセンター

Athletes' Service Center
選手サービスセンター

JAPAN

7
ORO
ENTER
S

海外へ
特産を
送るなら
EMS

日本郵便
郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

郵便局

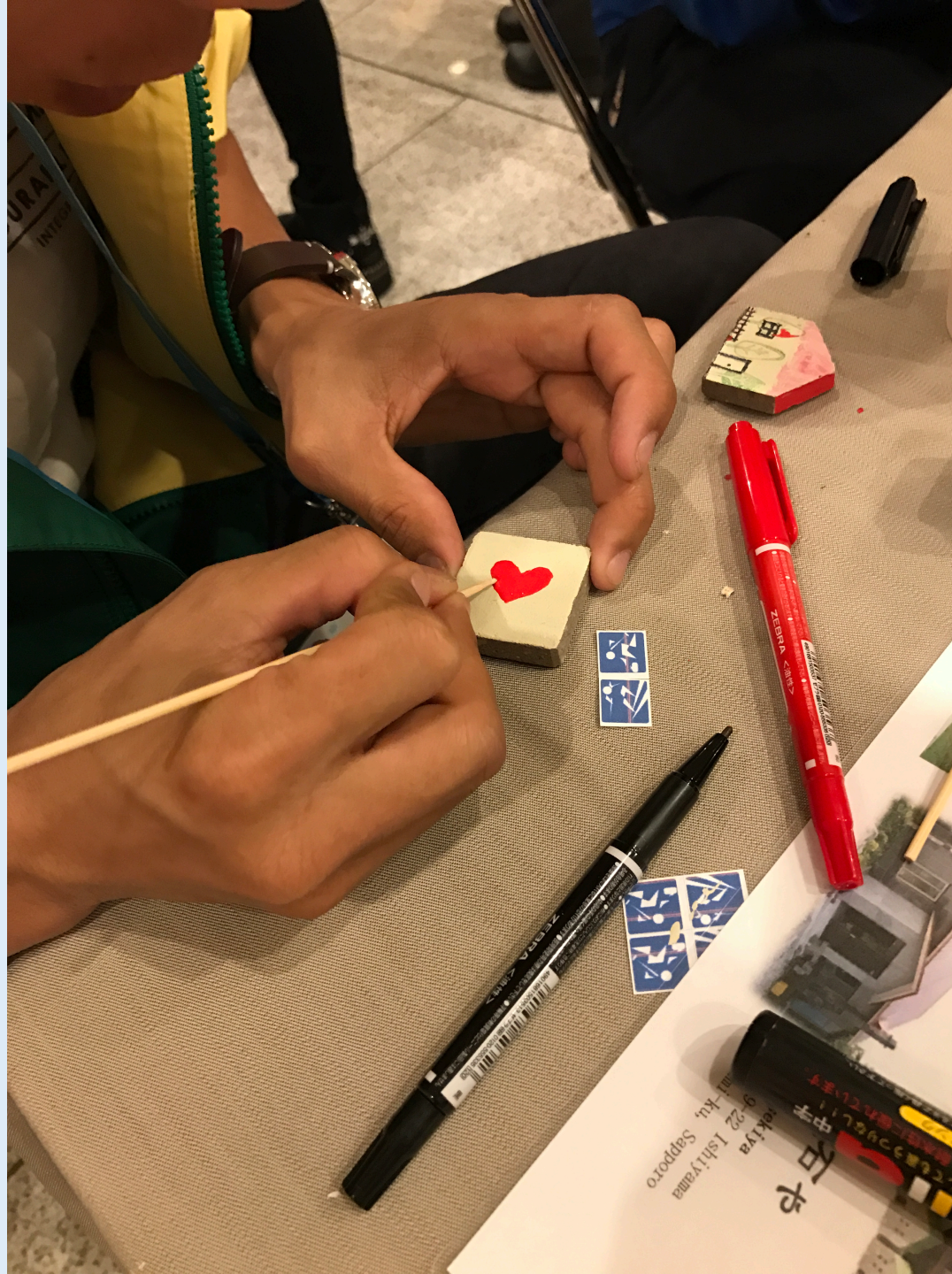
郵便局

郵便局

郵便局













冬季アジアボランティアの「経験」

【ゼミ】

- ・市役所職員、冬季競技関係者と一緒に大会の一部をつくり、運営した
- ・スポーツイベントを運営するために必要な「関係」を「からだ」を通じて経験した

【インターンB・一般】

- ・上（運営者、ゼミの学生）からの指示のみで動いた
- ・急な業務変更や人員多寡などで時間をもてあましたり、反対に激務になったりと業務は不安定
- ・受付、荷物運び、近隣の案内など「スポーツ」に直接関係ない業務がほとんど

私のスポーツ・ボランティアの経験から



冬季アジア大会（2017年2月）

- おもてなしボランティアを経験
- 「企画・運営」し「実施」まで担当
→商店街ツアー、ステージイベント、
文化体験、アイスキャンドルづくり
- 「一般ボランティア」としても登録・活動



経験から得たこと

- 関わり方で「経験」に差が出た
→「代えのきかない」存在、「無償の単純労働」
- ボランティア＝する側とされる側が結ぶ「関係性」

ボランティアとまちづくりの類似性



「いつでも」「誰でも」できる事

- ・ 専門性、特別な知識や技能、独自の関係性
→ いない = 代えがきく
- ・ 依頼されて支援する仕事
→ 「無償の単純労働」 ≠ ボランティア



ボランティアとまちづくり

- ・ 他の関係性では解決ができないから発動する
特別な関係性（それに基づいて行われる支援）
→ 「代えのきかない」存在
- ・ 「まち」 = 場所ごとに固有性をもつ
→ 人(家)どうしの関係性

スポーツを支える、まちをつくること



「まち」がスポーツを支える

- スポーツを支える主体
→ 家族、地域(≡代えのきかない他者)
- スポーツと直接的に関わる = 支える
→ 関わりが深いほど独自の関係性が生まれる



「まち」はまちの人が支える

- 他の関係には代わりが勤まらない
→ 固有の歴史、関係・経験の積み重ねをもつ
- まちの人（家）の関係（がつくりだす組織）
→ まちの問題・課題解決の主体

メガ・スポーツイベントが「まち」へ与える影響

1) インフラ整備の促進

→競技場までの輸送交通網、選手村の跡地利用
(集合住宅を賃貸・分譲)

2) まちの「性格」を決定づける

→建築基準、土地用途などに影響を与え、まちの
物理的配置を左右する

→開発の結果がまちの特徴となって地域のソフト面（組織
のあり方や活動内容など）に波及する

**例) 札幌五輪（1972年）が
真駒内へ与えた影響**

基礎情報：オリンピックの招致

■手続き

- ・立候補 ※国内での競争 ←約10年前から始動
 - ・選出（IOC総会にて） ←約8年前に決定
- ※2026年大会は2019年9月のミラノ総会で決定

■立候補（札幌）

- ・1940年、1968年、1972年、1984年、
2026年（予定）
- ※最多：レークプラシッド（米）6回（2回）
：ロサンゼルス（米）10回（2回）

1972年札幌大会の政策的背景

■札幌の五輪招致

- ・ 立候補：4回（1940、1968、**1972**、1984）
- ・ 1940年→夏季五輪開催国に決定権があった
＝東京：皇紀2600年記念式典
- ・ 1968年→S31.12.20 市議会定例会 山口明議員質問
→S32.3.20 招致意見書 満場一致で可決
→S33.4.28 市議会臨時会 高田市長反対
→S34.6 スポーツ団体からの依頼
→S34.11.30 開催地募集にエントリー
→S39.1.28 落選（4票/51票）

1972年札幌大会の政策的背景

- ・ 1972年→札幌市の都市計画に初めて五輪が載る
→原田與作市長（S34.4.30就任）の都市計画

【高田富與】（1947-1959）

- ・ 新規事業5カ年計画（S25） 道路／水道／住宅／学校
- ・ 3町村の合併（S30.3）→札幌都市計画協議会（7.1）
- ・ 札幌市総合都市計画（S33.12）→目標：S60

【原田與作】（1959-1971）

- ・ 主要事業10カ年計画（S35.3）
- ・ 豊平町合併（S36.5）
- ・ 札幌市が「新産業都市」指定を受ける（S39.4.4）
- ・ 「主要～」改定→「札幌市建設6カ年計画」策定（S40）
- ・ 手稲町合併（S40.11.16 市議会で可決）
- ・ オリンピック招致決定（S41.4）→「札幌市建設5カ年計画」₃₉

札幌市建設5カ年計画

■S40：6カ年計画

国：516億

道：129億

市：1004億

民間：1700億

計：**3350億**

■S41：5カ年計画

国：767億

道：215億

市：1800億

公社公団民間：3237億

計：**6021億**



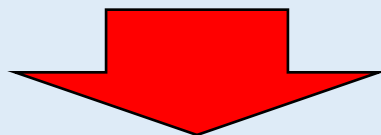
S42（初年）～S46（終年）

…**1971**年までに計画完了

目標としての五輪

原田與作『聖火が燃えるまで』（S47）

札幌を中心として冬季オリンピックが開催されることになれば、自ら都市施設整備のために国費の導入や札幌市に対する特別の財政措置がとられるであろうと考え、その誘致に力を入れることにした



五輪≠都市開発を誘発した

= 当初からの計画を達成するための財政的な呼び水

陸上自衛隊
真駒内駐屯地

真駒内
公園小学校

真駒内
屋内競技場

真駒内
屋外競技場

旧真駒内
小学校

地下鉄
真駒内駅

南区役所
南区民
センター

真駒内中学校

旧真駒内
緑小学校

真駒内
桜山小学校

【用途地域】

- 第一種低層住居専用地域
- 第二種低層住居専用地域
- 第一種中高層住居専用地域
- 第二種中高層住居専用地域
- 第一種住居地域
- 第二種住居地域
- 準住居地域
- 近隣商業地域
- 商業地域
- 準工業地域
- 工業地域
- 工業専用地域

出典：札幌市市民まちづくり
局『真駒内駅前地区まちづく
り指針』、7頁（平成25
（2013）年5月）



1948年、USA撮影



1947年、USA撮影

08-225



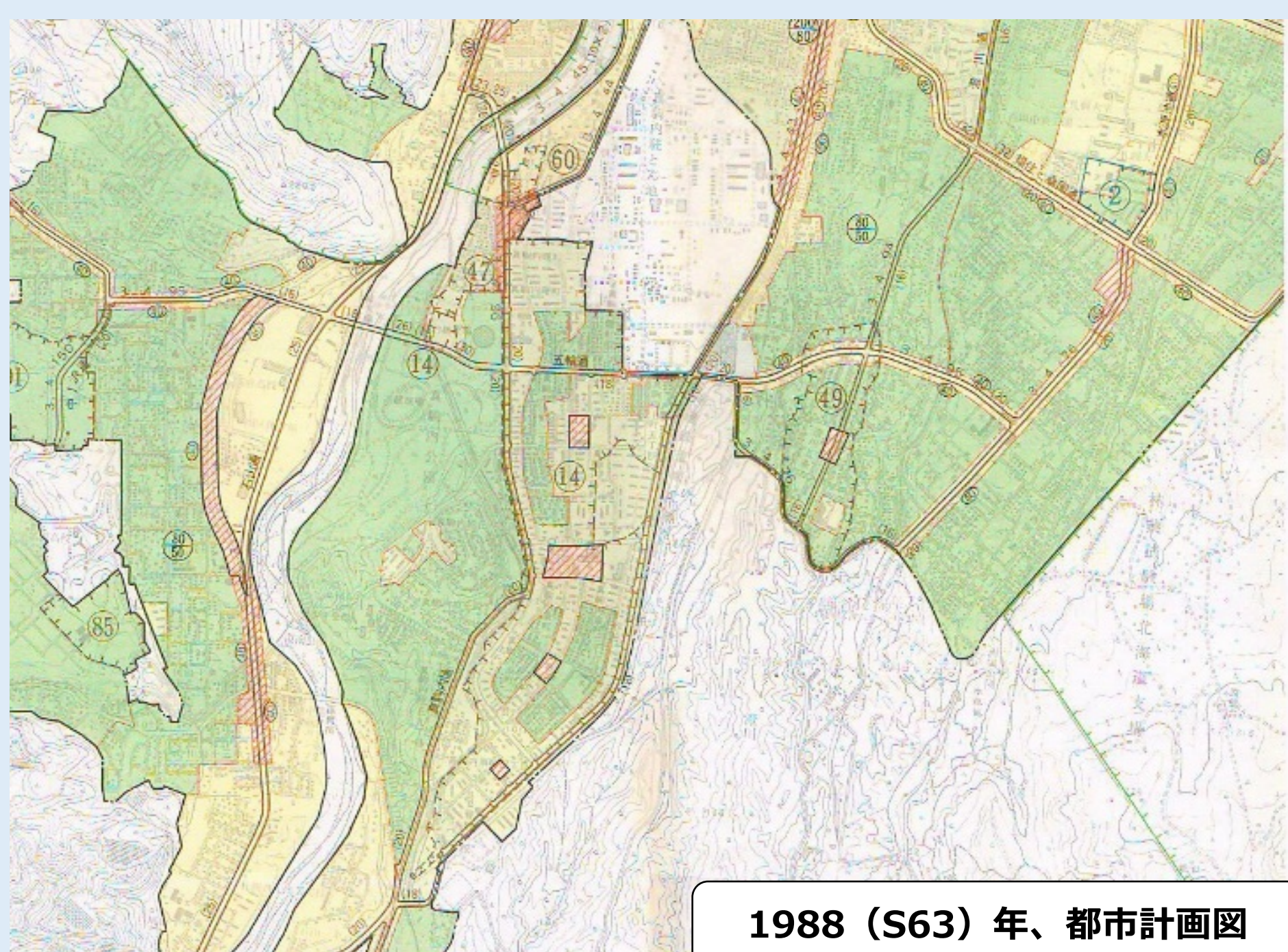
08-225



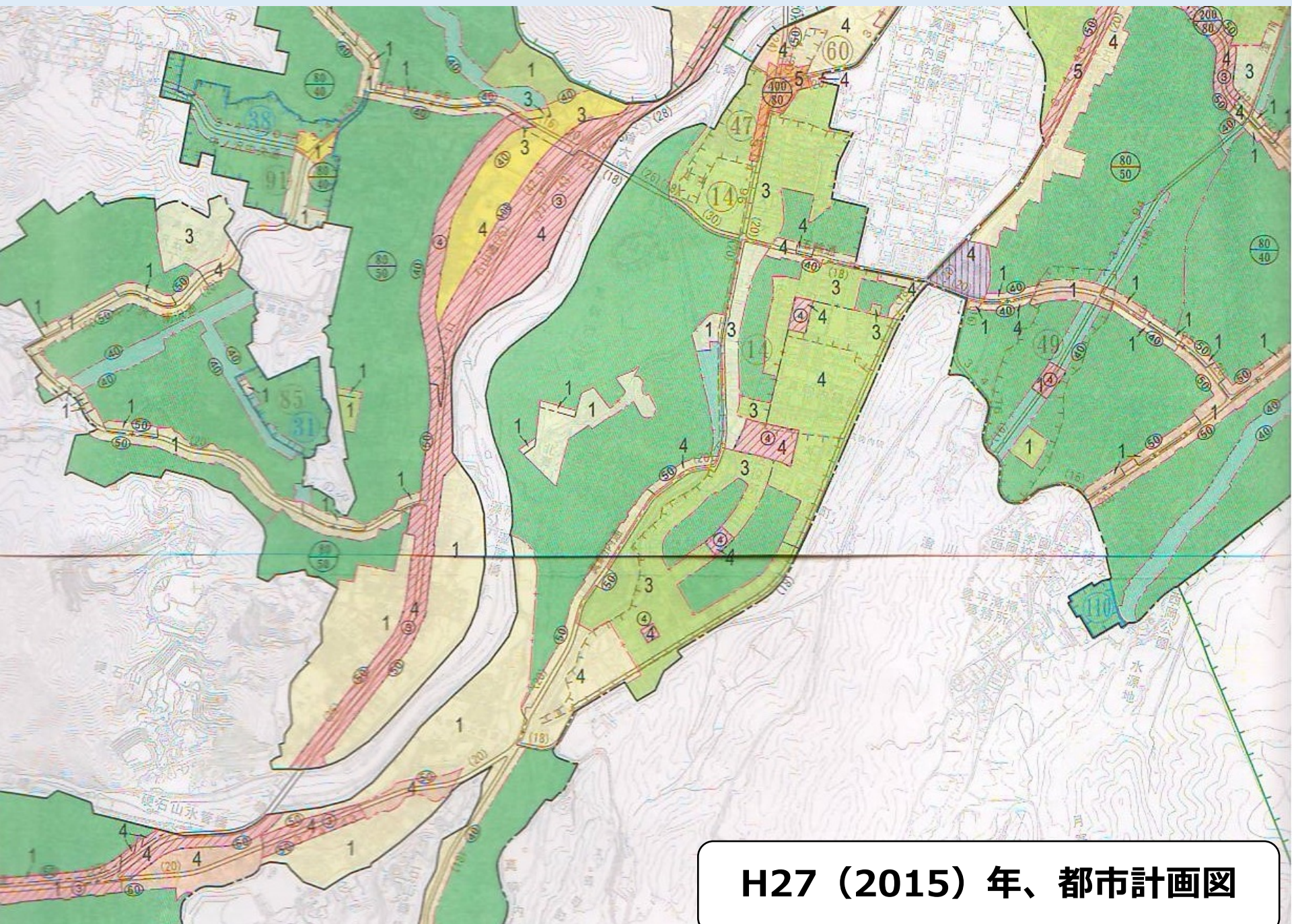
1961年、国土地理院撮影

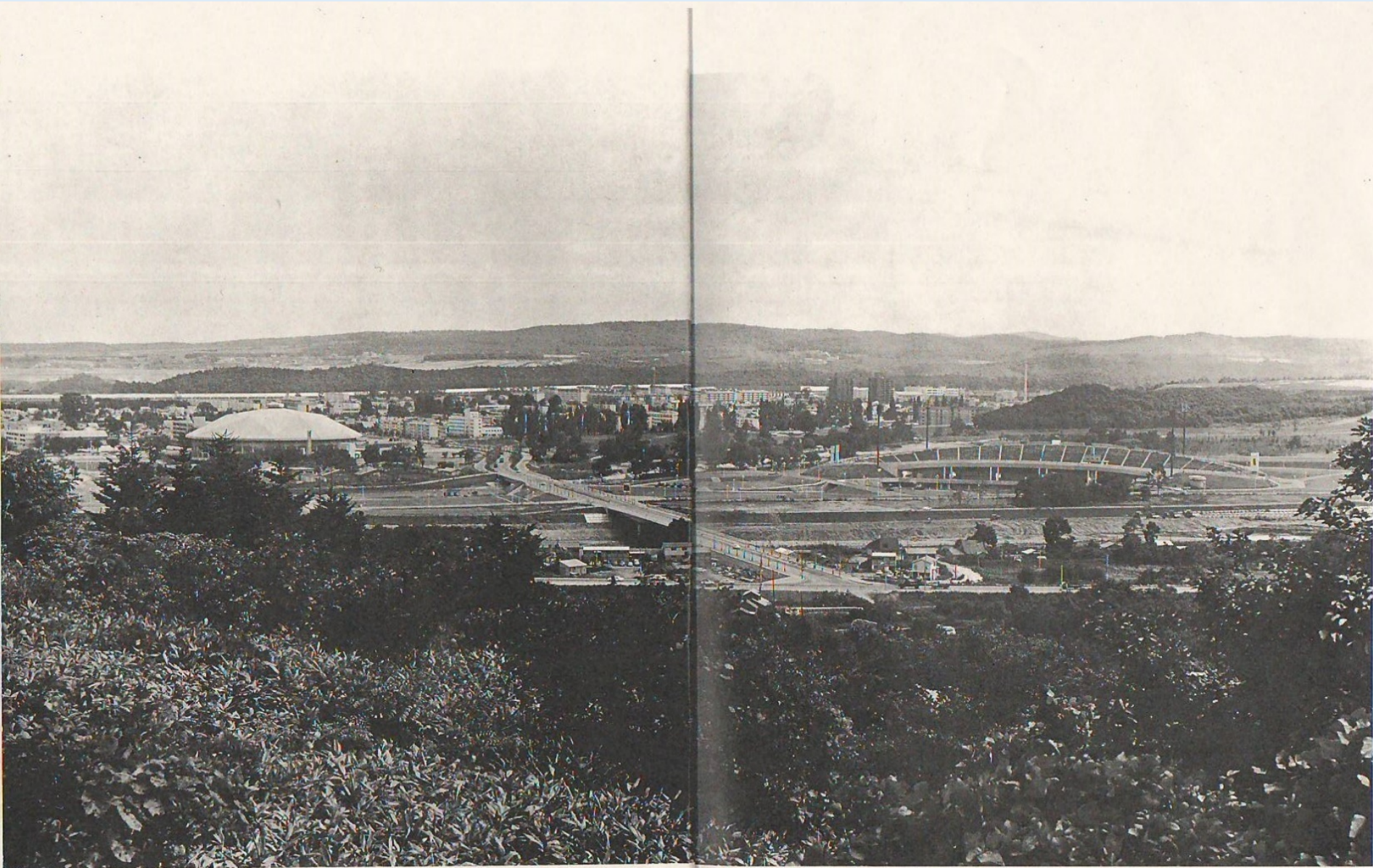


S42 (1967年) 都市計画図
黄色部…住宅
赤部…商業地



1988 (S63) 年、都市計画図

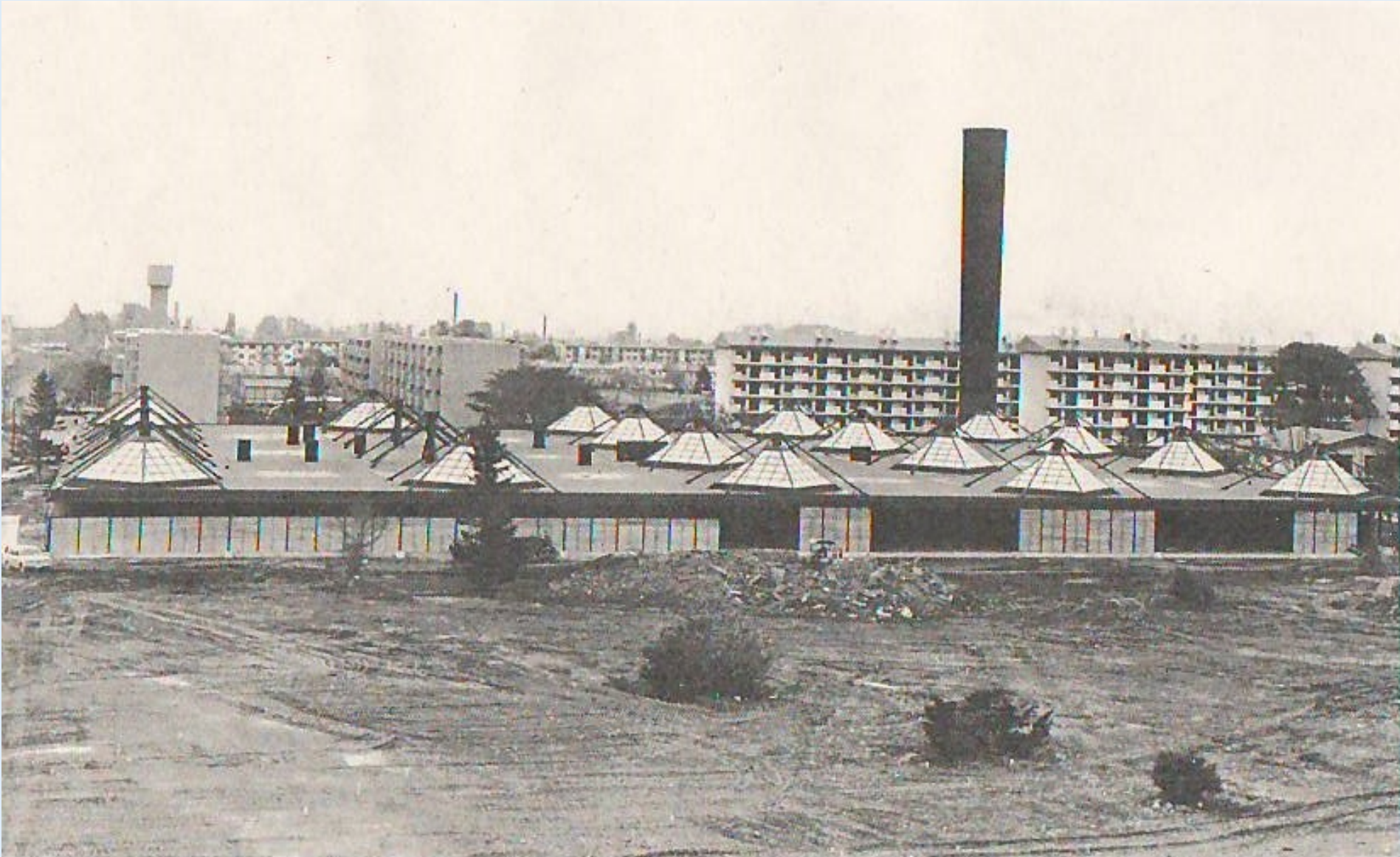








女子選手村から見た大会運営本部



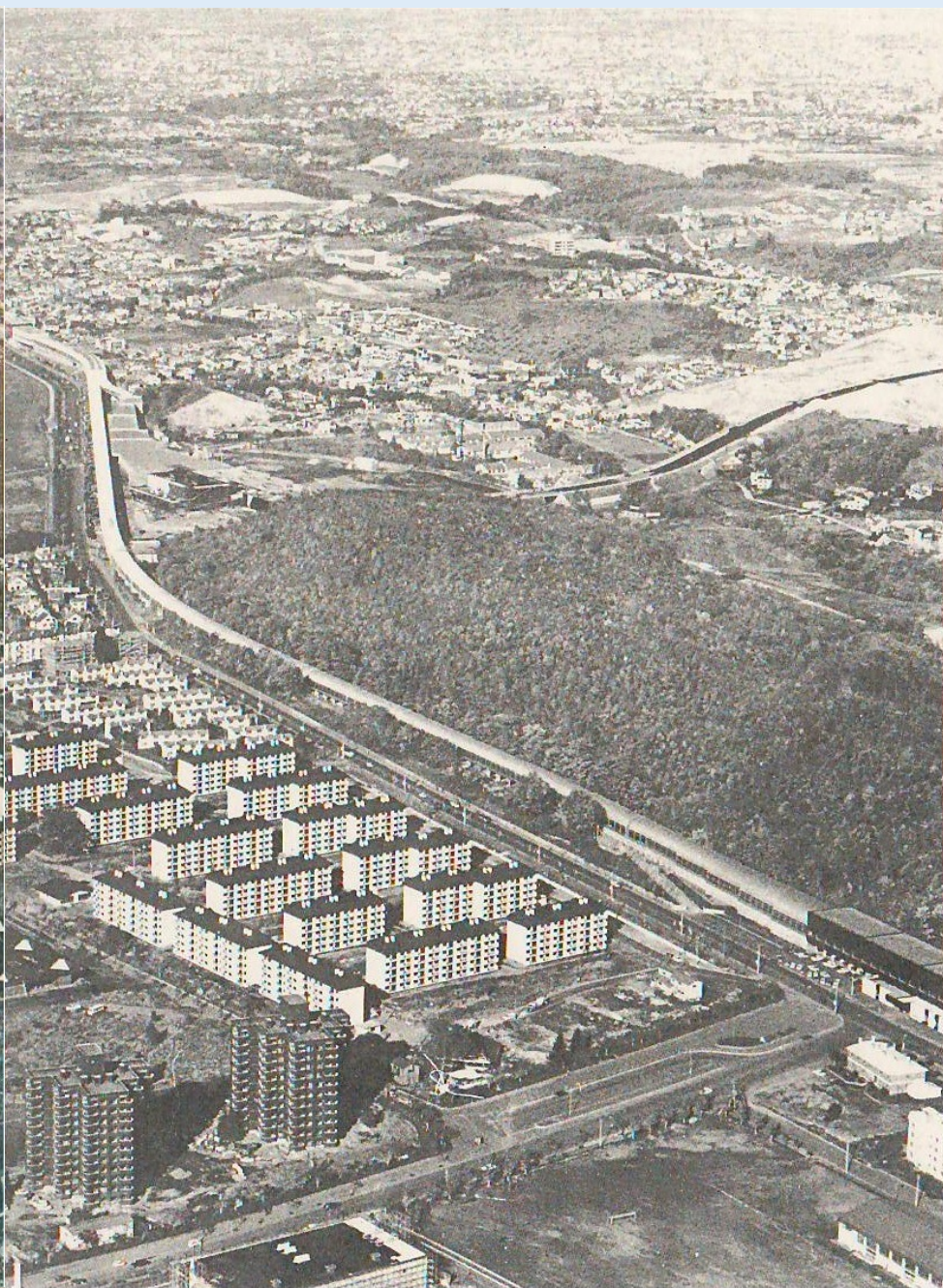
食堂棟

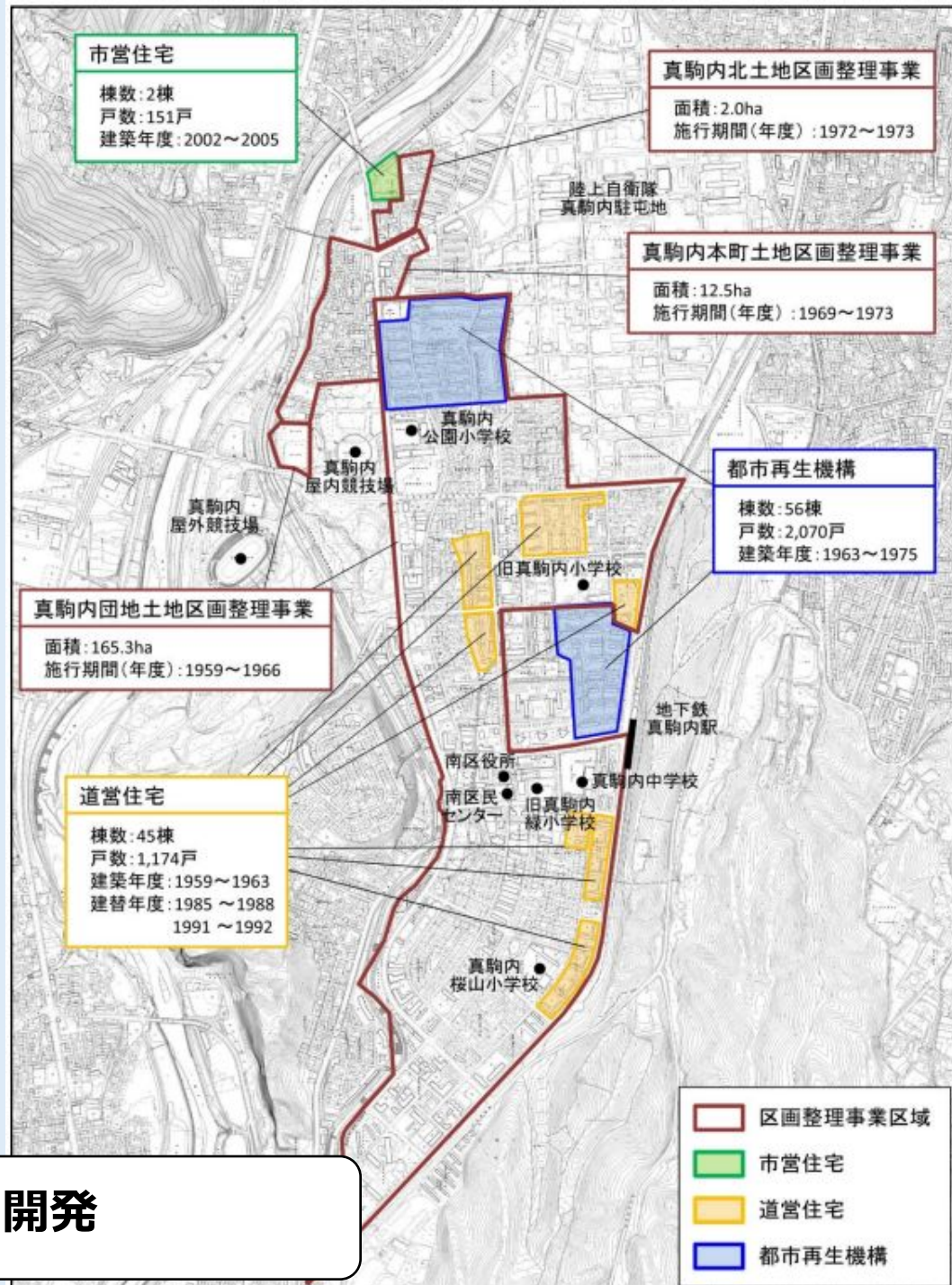


真駒内駅方面（緑町団地）



真駒内駅方面（緑町団地）





住宅開発

選手村の後利用

	大会時使用施設							あと利用		
	使用区分	建設主体	所在地	施設概要	組織委員会借用期間	大会前内装工事	大会後復元工事	利用区分	賃貸料 賃分 賃価 賃格	備考
外国プレスハウス	真駒内ハウス	日本住宅公団 (特定分譲住宅)	札幌市南区真駒内上町4丁目 同緑町4丁目	RC 5階建 5棟 3DK 60戸 4DK 50戸	46. 11. 1 ～ 47. 3. 15	46. 11. 1 ～ 46. 12. 30	47. 2. 19 ～ 47. 3. 15	特定分譲住宅として 6月1日から入居開始	特定分譲価格 3DK—5,045千円 4DK—5,615千円	全戸地域暖房設備
		日本住宅公団 (賃貸住宅)	札幌市南区真駒内緑町4丁目	RC 5階建 1棟 2DK 50戸	46. 11. 1 ～ 47. 5. 31	46. 11. 1 ～ 46. 12. 30	47. 2. 19 ～ 47. 5. 31	賃貸住宅として 6月1日から入居開始	賃貸料 2DK—23,100円 ～23,800円	同上
	柏が丘ハウス	日本住宅公団 (特定分譲住宅)	札幌市南区真駒内462番地の2	RC 4階建 4棟 3DK 56戸 4DK 22戸	46. 12. 1 ～ 47. 3. 31	46. 12. 1 ～ 46. 12. 30	47. 2. 19 ～ 47. 3. 31	特定分譲住宅として 6月1日から入居開始	特定分譲価格 3DK—5,082千円 4DK—5,752千円	同上
		北海道住宅供給公社 (積立分譲住宅)	同上	RC 4階・5階建 12棟 3DK 56戸 4DK 96戸	46. 12. 1 ～ 47. 3. 31	46. 12. 1 ～ 46. 12. 30	47. 2. 19 ～ 47. 3. 31	住宅金融公庫積立 分譲住宅として 5月11日から入居開始	積立分譲価格 3DK—4,555千円 ～4,671千円 4DK—5,387千円 ～6,273千円	同上
	食堂およびトイレ施設	組織委員会 仮設工事	同上	W 平家建(1部2階) 延床面積 2,475㎡	—	—	—	国際地所開発㈱の用地を借用して設置したものであり、同社に払下げ	—	—
国内プレスハウス	南3条地区	日本住宅公団 (市街地賃貸住宅)	札幌市中央区南3条西8丁目	RC 地階付、10階建1棟 (3階～10階を借用) 1DK 32戸 2DK 80戸	46. 12. 1 ～ 47. 3. 31	46. 12. 1 ～ 46. 12. 30	47. 2. 19 ～ 47. 3. 31	市街地賃貸住宅として 4月19日から入居開始	賃貸料 1DK—16,700円 ～17,800円 2DK—23,800円 ～25,300円	地下室ボイラーによる集中暖房設備
	北13条地区	日本住宅公団 (市街地賃貸住宅)	札幌市北区北13条西3丁目	RC 地階付、10階建1棟 (3階～10階を借用) 1DK 40戸 2DK 72戸	46. 12. 1 ～ 47. 3. 31	46. 12. 1 ～ 46. 12. 30	47. 2. 19 ～ 47. 3. 31	市街地賃貸住宅として 4月19日から入居開始	賃貸料 1DK—17,900円 ～19,000円 2DK—24,300円 ～26,700円	同上

72年札幌五輪以前からの土地基盤

- 北海道開拓使（国策）による開拓
→御料牧場（公用地）
- GHQによる戦後の接收→払い下げ
→国有地のまま
→自衛隊駐屯地、警察関係敷地
- 中心市街地の「ベットタウン」としての構想
→五輪前からの開発計画が存在

※参考：札幌市南区 昼夜間人口比

87.6%（H22） **84.2**%（H17）

札幌五輪が真駒内へ与えた影響

- 札幌のまちづくりの指針（都市計画）
→戦後、昭和25年代に既に完成していた
- 五輪の計画
→1968年立候補で「突如」湧きあがり、
1972年大会で「都市計画上に位置」を得た
→既存計画の裏書き、財政的呼び水
- 五輪関連施設とその開発
→公有地（国有地）の転用、それに付随して商工業が小さく発展
したが、当初から「住宅地」（=ベッドタウン）として
計画され、その性格を持っていた

まとめにかえて

メガ・イベントが街（真駒内）にもたらしたもの

- ・ 公団団地を中心とした集合住宅開発

- 町内会の乱立(現在、**100**を超える単町)

- 住民の**入れ替わり**が激しい地域に

- ・ 地域活動の低調化

- 地元地域の活動に参加する住民減

- ・ 自分の住む地元地域にまず関わること

- 自分にとって「**代えのきかない**」場所

- 地元と関係をもち、関わること = ボランティア

**ご清聴いただき
ありがとうございました**